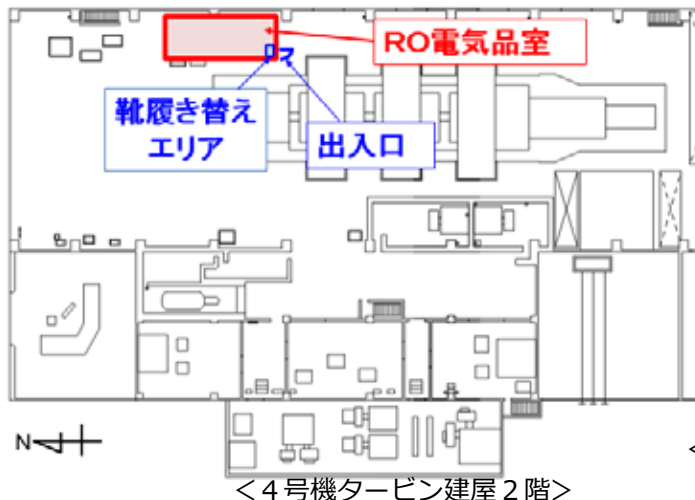


福島第一原子力発電所 4号機タービン建屋電気品室内における靴の履き替え運用の不徹底とその対策について

< 参 考 資 料 >
2019年6月13日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

【概要】

- タービン建屋内は地下階のRゾーンを除き全てYゾーンに設定しており、その内、電気品室のように精密機器等が設置してあるエリアは同じYゾーン内であっても、埃等の侵入対策のために、室内用の靴に履き替える運用を定めています。
- 2019年6月6日、新たな電源ケーブルの布設に向けた現場調査中に、4号機タービン建屋2階RO電気品室へ入室する際、本来ならば、埃等の侵入対策のために電気品室内用の靴に履き替えるべきところを、電気品室内は汚染がないものと思い込んでおり、靴を履き替えずに靴下で入室してしまいました。しかし実際は、扉の開閉などで電気品室内に埃等が入り込んでいたため、靴下の足裏が汚染してしまいました。その後、退域時の身体サーベイを受けたところ、4名の靴下の足裏から汚染が検出されました。（現場調査は10名で実施。内5名が靴下で電気品室内に入室。）
- 電気品室に入室する際は室内用の靴に履き替るという当社が定めた運用を認識していたものの、本運用を徹底せず、靴下で入室したことが原因であり、順次、再発防止策を講じているところです。
- なお、汚染が検出された4名の退域ルートをサーベイし、有意な汚染が無いことを確認するとともに、当日履いた靴と同じサイズの構内作業靴を全数サーベイし、有意な汚染が確認されたものは回収しており、外部への影響はありません。



<電気品室内>

【時系列】

2019年6月6日

| | |
|-----------|-----------------------------------|
| 午前 8時10分頃 | 新事務本館から現場出向 |
| 9時15分頃 | RO電気品室へY 装備で入室（汚染発生） |
| 9時50分頃 | RO電気品室から退室 |
| 11時30分頃 | 構内装備交換所にてY → G 装備へ着替え |
| 11時43分 | 入退域管理棟の退域時、身体サーベイにて靴下の両足裏から汚染検出 |
| 午後 0時 2分 | 監視員による身体サーベイで汚染がないことを確認して退域（靴下交換） |

【汚染状況（最大値）】

右靴下(足裏)：44.2 Bq/cm²

左靴下(足裏)：27.0 Bq/cm²

(汚染は靴下で留まっており、身体汚染は確認されていません。)

※電気品室の表面汚染密度：1.7 Bq/cm²～11.0 Bq/cm²

【再発防止対策（暫定対策）】

- 所員への周知徹底を図る。(6/7に実施済)
- 各電気品室に、より明確に区域設定が分かる注意喚起表示を取り付ける。また、きれいに見える電気品室内でも汚染があることを強調する注意喚起表示も行う。(順次実施中)
- 靴履き替え運用を行っている各電気品室の内靴を充足する。(順次実施中)